



2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年4月24日

上場会社名 石塚硝子株式会社 上場取引所 東・名
コード番号 5204 URL <https://www.ishizuka.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 石塚 久継
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務部長 (氏名) 山下 登 (TEL) 0587-37-2111
定時株主総会開催予定日 2025年6月17日 配当支払開始予定日 2025年5月30日
有価証券報告書提出予定日 2025年6月17日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期の連結業績(2024年3月21日～2025年3月20日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	55,994	△3.3	3,849	△29.5	3,713	△30.8	3,088	△34.4
2024年3月期	57,882	2.0	5,456	146.8	5,362	131.4	4,707	—

(注) 包括利益 2025年3月期 3,228百万円(△47.3%) 2024年3月期 6,123百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	739.09	—	9.5	3.9	6.9
2024年3月期	1,129.21	—	16.8	6.0	9.4

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 ー百万円 2024年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	100,417	35,332	33.8	8,104.29
2024年3月期	92,115	32,350	33.6	7,418.27

(参考) 自己資本 2025年3月期 33,912百万円 2024年3月期 30,942百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	7,169	△8,561	2,377	4,871
2024年3月期	5,704	△8,504	463	3,778

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	—	—	60.00	60.00	251	5.3	0.9
2025年3月期	—	—	—	65.00	65.00	271	8.8	0.8
2026年3月期 (予想)	—	—	—	65.00	65.00		11.6	

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年3月21日～2026年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	60,000	7.2	3,800	△1.3	3,500	△5.8	2,350	△23.9	561.59

(注) 2026年3月期の連結業績予想は、2025年1月時点の情報及び仮定に基づいて算定した数値であり、現在の米国を発端とする通商政策に伴う事業環境に与える影響は反映しておりません。

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1 社 (社名) 石塚ウェルネスパッケージング株式会社 除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期	4,219,554株	2024年3月期	4,219,554株
② 期末自己株式数	2025年3月期	34,992株	2024年3月期	48,490株
③ 期中平均株式数	2025年3月期	4,178,516株	2024年3月期	4,169,255株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年3月期の個別業績 (2024年3月21日～2025年3月20日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	33,421	△2.5	1,806	△2.1	3,538	7.4	3,419	△0.4
2024年3月期	34,261	△6.7	1,846	—	3,294	114.0	3,433	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2025年3月期	817.18		—					
2024年3月期	820.39		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円		百万円		%	円 銭
2025年3月期	85,999		27,585		32.1	6,592.20
2024年3月期	83,707		24,292		29.0	5,804.61

(参考) 自己資本 2025年3月期 27,585百万円 2024年3月期 24,292百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料につきましては、T D n e t で本日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や好調なインバウンド消費など経済活動に持ち直しの動きがみられ緩やかな回復基調で推移しました。一方、米国を発端とする通商政策に伴う世界経済の下振れリスクなど依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、長期的な視点で会社の方向を示すべきと考え、2019年に制定した新たな企業理念を踏まえ、「ISHIZUKA GROUP 2030～挑戦し続けることにより、躍動する企業へ～」を策定しております。また、これに基づき策定した当期を最終年度とする2024年度中期経営計画「変化するスピードに負けない」では、①2024年度連結営業利益3,500百万円、②中堅・若手人財の育成への取り組み、③2030年度CO2排出量をScope 1 + 2において50%削減・Scope 3において25%削減（ともに2020年度対比）に向けたロードマップ作りとその実践に取り組みしました。

業績につきましては、売上高はガラスびん関連事業、ハウスウェア関連事業及びプラスチック容器関連事業が減収となり、売上高は55,994百万円（前期比3.3%減）となりました。利益につきましては、売上高の減収に加えて、プラスチック容器関連事業新工場の立ち上げ費用が先行して発生したこと、ガラスびん関連事業の溶解炉定期更新に伴う生産停止の影響などにより、営業利益3,849百万円（前期比29.5%減）、経常利益3,713百万円（前期比30.8%減）、親会社株主に帰属する当期純利益3,088百万円（前期比34.4%減）と前期比で減益となりましたが、2024年度連結営業利益3,500百万円の目標を達成することができました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

<ガラスびん関連事業>

ガラスびんは、諸資材価格の高騰に対する販売価格改定の取り組みを進めましたが、姫路工場の操業停止に伴い出荷総量が減少したことなどにより、売上高は11,453百万円（前期比7.3%減）となりました。

<ハウスウェア関連事業>

ガラス食器は、一般市場向けの販売が落ち込みましたが、企業向けの景品受注が好調であったことにより、全体としては前期並みとなりました。陶磁器は、海外の昨年までのアフターコロナ特需が落ち着き、セグメント全体の売上高は13,273百万円（前期比4.0%減）となりました。

<紙容器関連事業>

紙容器は、主要ユーザーからの受注数量が落ち込んだことや充填機販売がありませんでしたが、拡販活動に加えて更なる円安進行や原紙調達コスト高騰に対する販売価格改定の取り組みにより、売上高は8,569百万円（前期比0.4%増）となりました。

<プラスチック容器関連事業>

PETボトル用プリフォームは、新たに建設した姫路工場からの販売も加わり主要ユーザーからの受注が堅調に推移しましたが、費用の減少に連動した販売単価の見直しにより、売上高は14,636百万円（前期比4.2%減）となりました。

<産業器材関連事業>

産業器材は、原材料価格の高騰に伴う価格改定等により、売上高は2,774百万円（前期比4.1%増）となりました。

<その他事業>

抗菌剤は、コロナ禍前の出荷水準に戻りつつあることや原材料価格の高騰に伴う価格改定などにより、セグメント全体の売上高は5,287百万円（前期比1.2%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べて8,302百万円増加し、100,417百万円となりました。これは主に、有形固定資産、その他（未収金）並びに現金及び預金が増加したことによるものです。また、負債合計は5,320百万円増加し、65,085百万円となりました。これは主に、長期未払金が増加したことによるものです。

純資産合計は2,982百万円増加し、35,332百万円となりました。これは主に利益剰余金が増加したことによるものです。これらの結果、自己資本比率は33.8%（前連結会計年度末は33.6%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,092百万円増加し、4,871百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、7,169百万円（前年同期は5,704百万円の資金増加）となりました。資金増加の主な要因は、税金等調整前当期純利益及び減価償却費によるものです。

一方、資金減少の主な要因は、法人税等の支払額及び未収入金の増加によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、8,561百万円（前年同期は8,504百万円の資金減少）となりました。資金減少の主な要因は、有形固定資産の取得による支出によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果増加した資金は、2,377百万円（前年同期は463百万円の資金増加）となりました。資金増加の主な要因はセール・アンド・割賦バックによる収入及び長期借入による収入によるものです。

一方、資金減少の主な要因は、長期借入金の返済による支出及び長期未払金の返済による支出によるものです。

また、金融機関と総額2,000百万円のコミットメントライン契約を締結しており、資金の流動性を確保しております。

(4) 今後の見通し

新型コロナウイルス感染症のパンデミックや米国の通商政策を発端とするグローバル経済への影響など外部環境が目まぐるしく変化する中、当社グループは「モノづくり」を通じて体質を強化し、多少の荒波が生じても難なく乗り越えられる経営基盤を確立するため、長期的な視点で会社の方向を示すISHIZUKA GROUP 2030を策定しております。また、それに基づく2027年度を最終年度とする3か年の中期経営計画を新たに策定しました。

ISHIZUKA GROUP 2030

コンセプト： ～挑戦し続けることにより、躍動する企業へ～

- 重点ポイント：
- (1) 2030年度連結営業利益を継続的に50億円以上あげる
 - (2) ISHIZUKA GROUPを支える「ヒトづくり」
 - (3) 環境と調和した持続可能な未来社会への貢献
2030年度CO2排出量をScope 1 + 2において50%削減・Scope 3において25%削減（ともに2020年度対比）
 - (4) 誰もが挑戦できる文化の醸成につながるDX

2027年度中期経営計画

コンセプト： 「新たな領域への挑戦」

- 重点ポイント：
- (1) 2027年度までに連結営業利益50億円の達成
 - (2) 中堅若手人財の躍動と視座高き人財の充実
 - (3) 2027年度CO2排出量 Scope 1 + 2 30%削減（2020年度対比）
 - (4) ペーパーレス化の推進・アナログ作業からの脱却（ラクの追求）

2027年度（2028年3月期）の連結営業利益5,000百万円を目標として積極的な取り組みを進めてまいります。2026年3月期の連結経営成績につきましては、売上高60,000百万円（前期比7.2%増）、営業利益3,800百万円（前期比1.3%減）、経常利益3,500百万円（前期比5.8%減）、親会社株主に帰属する当期純利益2,350百万円（前期比23.9%減）を見込んでおります。2026年3月期は、売上高につきましては、ハウスウェア関連事業やその他事業の抗菌剤等の海外市場に一部陰りが見られますが、前期に稼働を開始したプラスチック容器関連事業のPETボトル用ブリフォーム新工場の出荷増を見込むほか、その他事業のパウチ飲料充填事業の操業開始効果により増収を計画しております。

営業利益につきましては、増収効果に加えてガラスびん事業の溶解炉定期更新工事完了による生産増を見込みますが、人件費や諸資材価格の上昇影響もあり前期並みの営業利益を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を採用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月20日)	当連結会計年度 (2025年3月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,783	4,905
受取手形及び売掛金	16,577	16,616
電子記録債権	3,336	3,703
商品及び製品	9,966	9,808
仕掛品	655	812
原材料及び貯蔵品	4,508	4,456
有償受給に係る資産	3,480	4,194
その他	2,143	3,514
貸倒引当金	△2	△3
流動資産合計	44,447	48,008
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	26,363	32,998
減価償却累計額	△20,181	△20,933
建物及び構築物（純額）	6,181	12,064
機械装置及び運搬具	39,918	47,568
減価償却累計額	△36,124	△36,799
機械装置及び運搬具（純額）	3,794	10,768
工具、器具及び備品	6,241	8,336
減価償却累計額	△5,230	△5,848
工具、器具及び備品（純額）	1,010	2,487
土地	15,595	15,595
リース資産	7,017	6,924
減価償却累計額	△3,639	△3,579
リース資産（純額）	3,377	3,344
建設仮勘定	10,112	235
有形固定資産合計	40,071	44,495
無形固定資産		
ソフトウェア	79	53
その他	28	28
無形固定資産合計	108	82
投資その他の資産		
投資有価証券	6,239	6,463
退職給付に係る資産	311	420
繰延税金資産	538	619
その他	285	256
貸倒引当金	△17	△15
投資その他の資産合計	7,357	7,745
固定資産合計	47,538	52,323
繰延資産		
社債発行費	128	85
繰延資産合計	128	85
資産合計	92,115	100,417

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月20日)	当連結会計年度 (2025年3月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,998	11,523
短期借入金	3,813	4,394
1年内償還予定の社債	477	1,802
リース債務	1,087	761
未払金	3,750	4,348
未払費用	2,449	2,487
未払法人税等	738	610
賞与引当金	716	739
その他	870	883
流動負債合計	24,903	27,551
固定負債		
社債	8,100	6,298
長期借入金	15,376	14,132
リース債務	1,800	2,083
長期末払金	985	6,292
繰延税金負債	68	106
再評価に係る繰延税金負債	3,399	3,399
役員退職慰労引当金	10	11
汚染負荷量引当金	382	363
退職給付に係る負債	4,575	4,691
その他	162	154
固定負債合計	34,861	37,533
負債合計	59,765	65,085
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,344	6,344
資本剰余金	4,678	4,687
利益剰余金	11,281	14,119
自己株式	△109	△88
株主資本合計	22,195	25,063
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,712	2,846
繰延ヘッジ損益	-	1
土地再評価差額金	5,393	5,393
為替換算調整勘定	△113	△117
退職給付に係る調整累計額	753	725
その他の包括利益累計額合計	8,746	8,849
非支配株主持分	1,407	1,419
純資産合計	32,350	35,332
負債純資産合計	92,115	100,417

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年3月21日 至 2024年3月20日)	当連結会計年度 (自 2024年3月21日 至 2025年3月20日)
売上高	57,882	55,994
売上原価	41,641	41,169
売上総利益	16,241	14,825
販売費及び一般管理費	10,784	10,976
営業利益	5,456	3,849
営業外収益		
受取利息	15	26
受取配当金	195	206
為替差益	83	186
受取賃貸料	263	312
その他	159	281
営業外収益合計	717	1,014
営業外費用		
支払利息	311	402
社債発行費償却	43	43
賃貸収入原価	245	236
固定資産除却損	112	343
その他	98	123
営業外費用合計	811	1,150
経常利益	5,362	3,713
特別利益		
関係会社株式売却益	356	-
段階取得に係る差益	131	-
補助金収入	-	224
特別利益合計	487	224
特別損失		
固定資産圧縮損	-	224
特別損失合計	-	224
税金等調整前当期純利益	5,850	3,713
法人税、住民税及び事業税	932	717
法人税等調整額	17	△129
法人税等合計	950	588
当期純利益	4,900	3,124
非支配株主に帰属する当期純利益	192	36
親会社株主に帰属する当期純利益	4,707	3,088

連結包括利益計算書

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (自 2023年3月21日 至 2024年3月20日)	当連結会計年度 (自 2024年3月21日 至 2025年3月20日)
当期純利益	4,900	3,124
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	471	134
繰延ヘッジ損益	△9	1
為替換算調整勘定	△18	△3
退職給付に係る調整額	780	△27
その他の包括利益合計	1,223	103
包括利益	6,123	3,228
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	5,930	3,191
非支配株主に係る包括利益	193	36

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年3月21日 至 2024年3月20日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,344	4,606	6,719	△86	17,584
当期変動額					
剰余金の配当			△145		△145
親会社株主に帰属する当期純利益			4,707		4,707
自己株式の取得				△40	△40
自己株式の処分		22		17	40
連結子会社の自己株式取得による持分の増減		49			49
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	71	4,562	△22	4,611
当期末残高	6,344	4,678	11,281	△109	22,195

	その他の包括利益累計額						非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算調 整勘定	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	2,241	7	5,393	△94	△27	7,520	3,644	28,749
当期変動額								
剰余金の配当								△145
親会社株主に帰属する当期純利益								4,707
自己株式の取得								△40
自己株式の処分								40
連結子会社の自己株式取得による持分の増減								49
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	471	△7	-	△18	780	1,225	△2,236	△1,010
当期変動額合計	471	△7	-	△18	780	1,225	△2,236	3,600
当期末残高	2,712	-	5,393	△113	753	8,746	1,407	32,350

当連結会計年度(自 2024年3月21日 至 2025年3月20日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,344	4,678	11,281	△109	22,195
当期変動額					
剰余金の配当			△250		△250
親会社株主に帰属する 当期純利益			3,088		3,088
自己株式の取得				△1	△1
自己株式の処分		9		21	30
連結範囲の変動			△0		△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	9	2,837	20	2,867
当期末残高	6,344	4,687	14,119	△88	25,063

	その他の包括利益累計額						非支配株主 持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算調 整勘定	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	2,712	-	5,393	△113	753	8,746	1,407	32,350
当期変動額								
剰余金の配当								△250
親会社株主に帰属する 当期純利益								3,088
自己株式の取得								△1
自己株式の処分								30
連結範囲の変動								△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	134	1	-	△3	△27	103	11	114
当期変動額合計	134	1	-	△3	△27	103	11	2,982
当期末残高	2,846	1	5,393	△117	725	8,849	1,419	35,332

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年3月21日 至 2024年3月20日)	当連結会計年度 (自 2024年3月21日 至 2025年3月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	5,850	3,713
減価償却費	3,073	3,961
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2	△1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	101	22
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△68	1
汚染負荷量引当金の増減額 (△は減少)	△19	△19
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△169	△81
受取利息及び受取配当金	△210	△233
為替差損益 (△は益)	△122	△230
支払利息	311	402
有形及び無形固定資産除却損	102	343
有形固定資産売却損益 (△は益)	△40	-
関係会社株式売却損益 (△は益)	△356	-
補助金収入	-	△224
固定資産圧縮損	-	224
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,288	△391
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△72	118
未収入金の増減額 (△は増加)	△259	△554
前渡金の増減額 (△は増加)	25	34
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,286	514
未払費用の増減額 (△は減少)	81	24
その他	817	474
小計	6,040	8,098
利息及び配当金の受取額	210	230
利息の支払額	△306	△397
工場閉鎖関連損失の支払額	△64	-
法人税等の支払額	△175	△762
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,704	7,169
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,023	△8,490
有形固定資産の売却による収入	40	0
解体撤去費用の支出	△787	△45
投資有価証券の取得による支出	△113	△50
投資有価証券の売却による収入	-	14
貸付けによる支出	△8	△5
貸付金の回収による収入	7	7
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△144	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	600	-
その他	△73	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,504	△8,561

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年3月21日 至 2024年3月20日)	当連結会計年度 (自 2024年3月21日 至 2025年3月20日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△1,496	△100
長期借入れによる収入	4,430	2,180
長期借入金の返済による支出	△1,570	△2,743
社債の発行による収入	488	-
社債の償還による支出	△539	△477
セール・アンド・リースバックによる収入	930	-
セール・アンド・割賦バックによる収入	-	5,918
リース債務の返済による支出	△1,169	△833
長期未払金の返済による支出	△195	△1,289
連結子会社の自己株式取得による支出	△286	-
配当金の支払額	△145	△250
非支配株主への配当金の支払額	△19	△25
その他	39	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	463	2,377
現金及び現金同等物に係る換算差額	45	98
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,291	1,082
現金及び現金同等物の期首残高	6,069	3,778
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	-	9
現金及び現金同等物の期末残高	3,778	4,871

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営意思決定機関が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、ガラスびん・ハウスウェア・紙容器・プラスチック容器・産業器材の製造及び販売、並びにこれに関連した事業活動を展開しております。

したがって、当社は、これらの事業活動から「ガラスびん関連事業」・「ハウスウェア関連事業」・「紙容器関連事業」・「プラスチック容器関連事業」・「産業器材関連事業」の5つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービス

「ガラスびん関連事業」は、ガラス製容器等を製造・販売しております。「ハウスウェア関連事業」は、ガラス製及び陶磁器製食器等を製造・販売しております。「紙容器関連事業」は、紙容器及び紙容器に係る充填機械の販売・メンテナンスをしております。「プラスチック容器関連事業」は、PETボトル用プリフォーム等を製造・販売しております。「産業器材関連事業」は、主に加熱調理用器具のトッププレート等を製造・販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2023年3月21日 至 2024年3月20日)

(単位：百万円)

	報告セグメント							その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結 財務諸表 計上額 (注4)
	ガラス びん 関 連	ハウス ウェア 関 連	紙容器 関 連	プラス チック 容 器 関 連	産 業 器 材 関 連	計					
売上高											
顧客との契約から生じる収益	12,356	13,827	8,534	15,274	2,664	52,657	5,225	57,882	—	—	57,882
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	12,356	13,827	8,534	15,274	2,664	52,657	5,225	57,882	—	—	57,882
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	260	—	260	4,666	4,927	△4,927	—	—
計	12,356	13,827	8,534	15,535	2,664	52,917	9,892	62,810	△4,927	—	57,882
セグメント利益	1,118	913	259	2,614	437	5,343	138	5,482	△25	—	5,456
セグメント資産	11,439	13,250	5,945	36,790	2,592	70,018	3,912	73,930	18,184	—	92,115
その他の項目											
減価償却費	602	494	238	1,430	60	2,827	246	3,073	—	—	3,073
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	334	1,058	56	8,220	67	9,736	130	9,867	—	—	9,867

当連結会計年度(自 2024年3月21日 至 2025年3月20日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注3)	連結 財務諸表 計上額 (注4)
	ガラス び ん 関 連	ハウス ウェア 関 連	紙容器 関 連	プラス チック 容 器 関 連	産 業 器 材 関 連	計				
売上高										
顧客との契約から生 じる収益	11,453	13,273	8,569	14,636	2,774	50,707	5,287	55,994	—	55,994
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	11,453	13,273	8,569	14,636	2,774	50,707	5,287	55,994	—	55,994
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	210	—	210	4,890	5,101	△5,101	—
計	11,453	13,273	8,569	14,847	2,774	50,918	10,178	61,096	△5,101	55,994
セグメント利益	216	712	273	1,627	397	3,227	609	3,837	12	3,849
セグメント資産	12,792	12,227	6,026	42,624	2,878	76,549	4,790	81,340	19,077	100,417
その他の項目										
減価償却費	630	467	226	2,347	71	3,743	218	3,961	—	3,961
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	2,932	302	92	6,165	45	9,539	552	10,092	—	10,092

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社及び子会社の一部の事業を含んでおります。
2. 前連結会計年度におけるセグメント利益の調整額△25百万円には、棚卸資産の調整額△9百万円、その他△16百万円が含まれております。また、セグメント資産の調整額18,184百万円には、管理部門に帰属する全社資産等18,641百万円、債権・債務消去△426百万円、棚卸資産の調整額△20百万円、その他△9百万円が含まれております。
3. 当連結会計年度におけるセグメント利益の調整額12百万円には、棚卸資産の調整額15百万円、その他△2百万円が含まれております。また、セグメント資産の調整額19,077百万円には、管理部門に帰属する全社資産等19,552百万円、債権・債務消去△452百万円、棚卸資産の調整額△5百万円、その他△17百万円が含まれております。
4. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年3月21日 至 2024年3月20日)	当連結会計年度 (自 2024年3月21日 至 2025年3月20日)
1株当たり純資産額	7,418円27銭	8,104円29銭
1株当たり当期純利益	1,129円21銭	739円09銭

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年3月21日 至 2024年3月20日)	当連結会計年度 (自 2024年3月21日 至 2025年3月20日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	4,707	3,088
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	4,707	3,088
期中平均株式数(千株)	4,169	4,178

(重要な後発事象)

該当事項はありません。